

平成25年度 第10回栃木県支部役員会 議事録

日 時：平成26年3月8日（土） 13時30分～16時45分

場 所：栃木県支部 事務所

1 役員出席状況

出席者：菅井俊郎、小黒幸市、黒須重富、稲葉 茂、福島民也、梁島宏光、羽山定治、
柳瀬宣義、亀田則男、谷口雅昭、宮下治、福田一郎（記録）

委任状提出者：小川正順、鈴木友幸、新井達雄、久芳良則、西谷元則、大井隆資

2 審議事項

①年次大会について（資料10-1-1：宮下説明）

- ・日時：6月7日（土） 役員会を12時から開催する。
- ・場所：ホテル丸治 講師は県工業振興課に依頼する（菅井、柳瀬）
- ・報告会の内容は 工場見学（羽山）、ミャンマーでの技術支援（小黒）
福島県復興支援（宮下）の3つを候補として調整する。

②25年度会計報告及び課題検討（資料10-1-2：黒須）

- ・収支実績を業務関係の支出を一部修正する。
- ・本部からの未収入金は催促する。
- ・年度初めの運転資金として20万円程度確保できると運営がし易い。
- ・会計科目が間違い易いので留意のこと。

③H25年度補正新ものづくり補助金関係について（別添資料10-1-3：柳瀬）

- ・3月8日現在、8社に声をかけ、うち6社は自社で対応又は応募せず。2社は検討中。
- ・締め切りは1次3月14日、2次5月14日。

④科学技術講演会のテーマと講師について（別添資料10-1-4：宮下）

- ・日時：10月4日か25日で調整する。
- ・場所：総合文化センター、共和大学か宇都宮大学等市内中心部に近いところを検討する。
- ・テーマ（講師）：タイムリーなもので、著名人を人選する。
- ・3月末を目途に案を宮下企画委員長まで提出。

⑤宇都宮市イノベーション推進会議参加について（別添資料10-1-5：菅井）

- ・宇都宮市からの説明を受け、支部として推進会議への参画と担当について意見交換をした。
当面、窓口は小黒さん（必要に応じ菅井支部長、各関係委員長）とする。

⑥事務所を利用した講座、研究会について（菅井）

- ・事務所2階を活用した講座、研究会を立ち上げたい。たとえば3Dプリンターの活用。
- ・講座を開催（5～6回）していきたい。また、栃木未来ネットワーク、宇大、文星大等との連携も視野にいれ検討。
- ・トキタ a c の支援にもなる。3D関係に実績のある（有）那須化成の紹介。
- ・当面、谷口さんを窓口として3Dプリンター関係についての勉強会の検討を始める。
（別添資料10-1-6：菅井）

⑦会員名簿と連絡方法の徹底について（別添資料10-1-7：福田）

- ・4月末を目途にデータを更新した名簿（電子データ）を作成する。

- ・紙ベースの名簿は利用し易い（意見）
- ・会員や役員等への名簿（データ）の配布について引き続き検討する。
- ・Yahooのメールサービスが終了するので、新たなツールを検討する。グーグルも同様なサービスがあるため検討する。

⑧その他

- ・企画委員会として現地見学会（福島県浜通り）を開催したい。（8月末：1泊2日）
詳細は今後詰める。（別添資料10-1-8：宮下）
- ・6月に訪中を考えている。3月18日の例会で具体的に詰めていきたい（国際委員会：福田）
- ・福島での復興支援状況を報告（別添資料：宮下）

3 報告事項

① 8 県支部長会議について（別添資料 10-2-1：柳瀬）

② 工場見学会についての報告と予定（羽山）

- ・2月4日、群馬県支部と合同で岡本機械製作所見学（本県支部参加者3名群馬県支部3名）。
- ・3月12日は長府製作所等を科学技術フォーラムのメンバーと一緒に予定。

③ トキタ a c 支援について（柳瀬）

- ・足裏健康器具開発等を引き続き検討していく。

④ その他

- ・3月11日開催の「とちぎ未来ネットワークフォーラム2014」等の開催についての紹介（別添資料10-2-4：菅井）
- ・亀田幹事の報告。会社を退職して岩手県職員となり、大船渡市支援のため市に派遣される。これまで通り栃木県支部に在籍するが、県支部の活動はかなり制限を受ける。（亀田）

添付資料

資料 10-1-1 から 10-1-8

資料 10-2-1 から 10-2-3

その他の資料

- ・次回役員会：4月19日（土）13：30～を予定

以 上

議事録 署名人

支部長 菅井 俊郎 _____

議事録署名人 小黒 幸市 _____

議事録署名人 柳瀬 宣義 _____

議事録署名人 福田 一郎 _____